

# カトリックさいたま教区サポートセンター ボランティア活動報告⑪



## いわきサポートステーション もみの木

第33チーム・2011年11月10日(木)～11月15日(火)

■湯本サポートステーション（福島県いわき市）  
（シスター1名、信徒女性1名、計2名）

フィンランドからはるばるやってきたログハウスは、急ピッチでその姿を見せる。見る見るうちに材木が次々と組み立てられていく。まるで魔法のよう。工事現場の皆さま、お疲れ様です！



ログハウス建設① 11月8日時点



ログハウス建設② 11月10日時点



ログハウス建設③ 11月12日時点

木曜日午後2:40分ごろ、常駐スタッフと共に、車で到着。新潟教区より参加する2名を迎える。夕食後、被災地のビデオをみる。

金曜日、被災地の久ノ浜に見学に行く。その後、もみの木カフェに向かい、12時過ぎ到着。お弁当を食べ終わったころ、4名のお年寄りが来られ、並べてある衣類を一人1、2枚選び喜んで帰られた。12:50頃、いわき教会の方々、みみの会の方々によるグループに交わり、4名ずつ4班に分かれ、仮設住宅へ傾聴に出かける。午後3時半にはいわき教会に戻り、報告会をした。途中で買い物をして、湯本ステーションに到着。



交流カフェ① ブティック風に並べられた冬物衣類

土曜日、仮設住宅を訪問した。良い天気だったので、外での花の手入れをしていた方や野菜作りを楽しんでいる方々と会話が弾む場面もあった。同じ集落のつながりを大切にしている様子が会話から感じ取られた。一時帰宅冬物を持ってこられた家族、その一方で放射線の関係で持って帰れなかった家族もいた。午後4時には帰り、ボランティアチームで分かち合いと記録をした。

日曜日、仙台教区が“主において一つに結ばれている”ことを表す絆のろうそくが、湯本教会に着き、灯された。このろうそくは、先日おこなわれた福島県カトリックの集いのミサ「常に新しい創造へ」～主において私たちは

一つ～の中で、奉納されたもの。ミサ後、信者さん方と談話。昼食後、仮設住宅訪問。出会った人の中に、周りが砂利道のため、シルバーカーが埋まってよく歩けないと嘆く方がいらした。また、談話室に集まって交流がよく出来ている人々の様子も見られた。午後3時半頃、常駐スタッフともみの木カフェで合流して湯本ステーションに帰る。

月曜日、9時に仮設住宅に向けて出かける。再訪したいお宅を訪問した。12時過ぎに、交流カフェもみの木で昼食。午後1時半頃、午前に引き続き、再訪したいお宅を訪問した。お話を聞くうちに、仮設建設担当業者によって、住環境に差が生じ、喘息など健康悪化する人が増えていることへの不満を感じる方や、マスコミの被災者の取り上げ方について物足りなさを感じておられる方々がいることを知った。一方、震災による状況を受け入れ、支え合う絆を感謝していることを話して下さる方々とも出会えた。両者ともに、話ができるチャンスを求めておられると感じた。



交流カフェ② 手編みのマフラー

第34チーム・2011年11月17日(木)～11月22日(火)

**湯本サポートステーション (福島県いわき市)**  
(信徒女性2名、計2名)

木曜日の午後2時半頃、もみの木カフェ到着。支援物資搬入、一部整理。ログハウス見学。カフェにて交流。午後5時、途中買い物をしながら湯本ステーションに帰着。午後7時夕食・ミーティング。

金曜日の朝9時50分、もみの木カフェへ出発。もみの木2階の衣類の整理とカフェのディスプレイをした。12時ごろ、谷司教様が長澤助祭と共にもみの木カフェを見

学のため訪問にいらした。午後1時、いわき教会でみみの会と傾聴のためのミーティング。1時半に仮設住宅を訪問。傾聴ボランティアは初めてだったが、本当に色々な問題を抱えていると感じた。助かったのに、その後病院で水不足のため、配偶者を亡くした方、シングルマザーの家庭、数か月ぶりに実家に帰った様子を嬉しそうに話された方、その他にも傾聴を待っていらっしゃる方が多いので、ボランティアはもっと必要だと感じた。午後3時半、いわき教会に戻り、12名で報告会。湯本ステーションに帰着後、7時の夕食の後ミーティング。

土曜日、9時半にもみの木カフェへ出発。昨日に引き続き、カフェの掃除と準備、衣類の整理をした。12時に昼食を取った。雨風がひどかったせいか、来訪者は一名。学習支援を予定していたが、子どもたちはこの日登校日だったため、誰も来訪しなかった。明日の日曜日日はカフェを開くために、いわき教会で夕方の主日ミサにあずかった。ろうそくりレーの点灯があり、記念撮影があった。

日曜日、9時半にカフェへ出発。10時到着と同時に来訪があり、ほとんど続けて来訪者が来られる。12時半に昼食。午後1時から4時近くまで来訪者と交流。被災当時のお話を聞いた。「仮設住宅は狭いし、プレハブなのでもみの木カフェは落ち着く。近くにカフェがないので嬉しい」などの意見多数。合間に、11月27日に行われる高松教区の方々主催「初冬の小さな祭り・さぬきうどん」のチラシ1000部を三つ折りした。その後、その祭りの準備のため買い物。物資搬出のため、小名浜へ。夕食の買い物をしてから午後6時ごろ帰着、夕食。



交流カフェ③ 子供服や本